

## 特設会場を設けた場合における接種の具体的なイメージ（笠岡市）

作成日：R3.02.26

会場図番号	当日の流れ	業務の内容、手順	準備品
①	駐車場 (事務員 1 ～ 3)	事務員 1, 2 : 自動車等の誘導・警備をする。 事務員 3 : 会場出入口付近で誘導する。	ビブス
②	受付 (事務員 4, 5)	事務員 4 : 手指消毒を促し、検温をする。 明らかに発熱している方※は、入場不可とする。 事務員 5 : 身分証明書の確認、予診票記載の案内をし、 クリアファイルと経過観察時間記入用紙を お渡しする。 ※対象者は予診票・接種券・接種済証を持参	予備の予診票、 ナンバリングされた経過観察時間記入用紙 (○時○分まで記入できる用紙)、 ナンバリングされたクリアファイル、 ボールペン、体温計、消毒液
③	予診票事前確認 待機場所 (事務員 6)	事務員 6 : クリアファイルに予診票・接種券・接種済証・ 経過観察時間記入用紙を入れた状態で、 待機してもらう。	
④	予診票記載場所 (事務員 7)	事務員 7 : 予診票の記載ができていない方で、 自分で記載ができる方は、各自で記載してもらう。	ボールペン
⑤	予診票事前確認 (看護師 1, 2 / 保健師 1, 2 / 事務員 8)	看護師 1, 2 / 保健師 1, 2 : 予診票の記載項目の抜け漏れ・ 不備のチェックをする。 事務員 8 : 2 階の予診待機場所へ誘導する。	ボールペン、確認印
⑥	予診待機場所 (事務員 9, 10)	事務員 9 : 階段付近で経路の案内をする。 事務員 10 : 出入口でクリアファイル一式を回収し、 待機してもらう。 回収した順番にクリアファイル一式を お渡しし、予診会場へ誘導する。 ※事務員 11 と連携する。	ファイル回収箱

※明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指す。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱とされる場合はこの限りではない。

会場図番号	当日の流れ	業務の内容, 手順	準備品
⑦	予診 (医師 1 ～ 4, 事務員 11, 12)	医師 1 ～ 4 : 体調や持病を確認する等必要な診察を接種前に 行い, 予防接種を受けることが適当でない方又は 予防接種の判断を行うに際して注意を要する方に 該当するか否かの確認をし, 署名をする。 経過観察時間の判定をし, 用紙に記入する。 事務員 11 : 出入口で順番を呼び, 予診レーンへ誘導する。 ※事務員 10 と連携する。 事務員 12 : 予診レーンの案内・整備をする。	ボールペン
⑧	希釈・充填 (看護師 3, 4)	看護師 3 : 薬液を希釈する。 看護師 4 : 薬液を充填し, 接種レーンに渡す。	
⑨	接種 (看護師 5 ～ 8, 事務員 13 ～ 16)	看護師 5 ～ 8 : 対象者に接種し, 接種券(シール)を予診票に貼付する。 事務員 13 ～ 16 : 経過観察時間記入用紙のみを対象者に 渡し, クリアファイルを⑪に渡す。 対象者を⑩に案内する。	
⑩	経過観察 (看護師 9, 10 / 事務員 17)	看護師 9, 10 : アナフィラキシーや血管迷走神経反射等 の症状が生じることがあるため, 一定期間 経過観察を行う。 ※パーテーションで経路を設定する。 事務員 17 : ⑪や出入口へ誘導する。	

会場図番号	当日の流れ	業務の内容, 手順	準備品
⑪	接種済証発行 (事務員 18, 19)	<p>事務員 18: クリアファイルを⑨から受け取る。 接種したワクチンのワクチンシールを 接種済証に貼付する。</p> <p>事務員 19: 接種日・接種場所を押印する。 対象者に接種券と接種済証をお渡しする。 ※予診票は市区町村保管</p>	日付印, 接種場所印
⑫	救急対応場所及び 必要物資の確保・保管 (看護師 11)	看護師 11: 副反応が見られた際に, 応急治療をする。	